

団体名	香川短期大学						
事業名	コロナ禍における留学生と地域住民と地元企業の交流推進事業						
実施期間	2021年12月15日～2022年1月21日						
場 所	香川短期大学						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	15		1	3	2		21名

<実施内容>

新型コロナウイルスの影響で、留学生は地域住民や地元企業との交流が大きく制限されています。そこで、感染症対策に配慮した形での交流機会を与えることを目的として本事業を行いました。令和3年12月には地元香川県で活躍する書道家の先生をお招きして、日本の文化である「書道」を学ぶ文化交流会を実施しました。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いました。参加者全員の体温測定と手指消毒の徹底、換気を常に行うなどです。交流会では留学生と日本人参加者が一緒に書道を学ぶことで、交流を行うことができました。参加した留学生からは好意的な感想が多く寄せられました。計画では令和4年1月に留学生による地元企業の訪問と見学を行う予定でしたが、香川県内に「まん延防止等重点措置」がとられたことを受け、残念ながら中止することといたしました。

<記録写真>



写真1 指導を受ける留学生



写真2 初めての書道体験



写真3 手指消毒の徹底

<参加者からのコメント>

チュックさん(ベトナム)/TRUC

書道教室を通して、色々なことを学びました。漢字には文字としてだけではなく、隠れた意味があることを知りました。先生からきれいな文字の書き方を優しく教えていただきました。面白い授業だと思いました。このような授業にもっと参加したいと思います。

ルエンさん(ベトナム)/RUYEN

書道を体験できたことはとても楽しかったです。漢字を美しくする書き方も少しわかりました。一つ一つの動きで自分の作品ができていくことが良かったです。日本の文化をもっと好きになりました。また、機会があったら、ぜひ参加したいです。本当にありがとうございました。